

自己注射の手順

動画はこちらから
ご覧になれます



必要な物品

(これらが揃っていることを確認して下さい)

注射薬



バイアルタイプ



アンプルタイプ

※注射薬によって異なります

溶解液/注射器関連



溶解液



注射器



注射針
(22G: 太く長い針)



注射針
(27G: 細く短い針)

補助物品



廃棄ボックス



アルコール綿



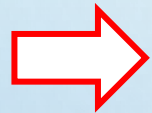
絆創膏

大まかな流れ

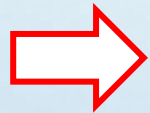
物品を準備する



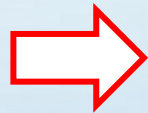
手を石鹸で洗う



注射薬を作る



注射を打つ



片付ける

※注射を打つ時間は、医師から指示がない場合は何時でも良いです。

※冷所保存の薬は、帰宅後冷蔵庫に入れて下さい。

次ページからこの部分を説明します



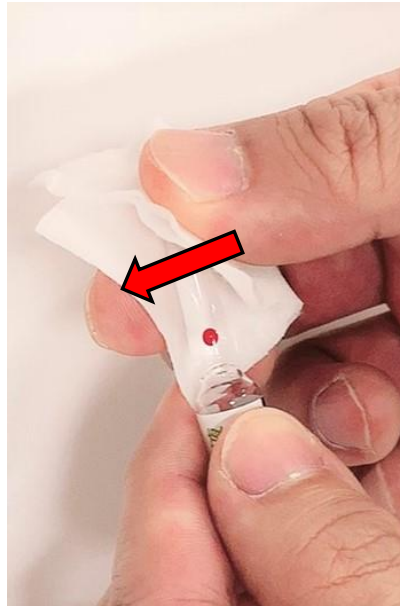
アンプル製剤の作り方

1. 注射器と22G針を接続する



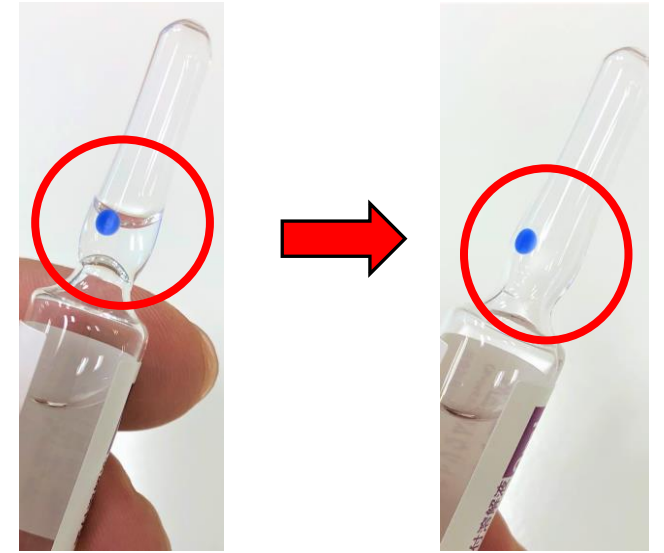
接続部分はネジ式になっています

くるくる回して接続します。
接続できたら、キャップはそのままに
しておいてください。



2. 溶解液アンプルを開ける

丸い目印を
自分の方に向け、アルコール
綿で持って奥
に倒すと
パキッと折れます。



アンプル上部に液体や薬が溜まって
いる場合は、アンプルの上部を持って
軽く振るか、指で弾いて下に落として
下さい。

3. 溶解液を0.5ml吸う

22G針のキャップを引っ張って外し、溶解液を0.5ml吸います。指を刺さないように注意して下さい。



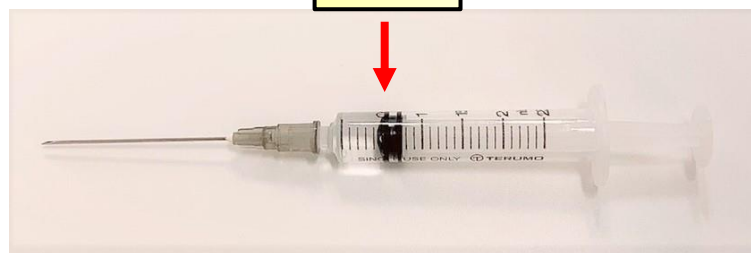
※動画では手でアンプルを持っていますが、テーブルなどに立てて吸っても構いません。

4. 溶解液を0.5mlに調整する



注射器から空気を抜き、溶解液が0.5mlであることを確認します。

0.5ml



5. 薬を溶かす



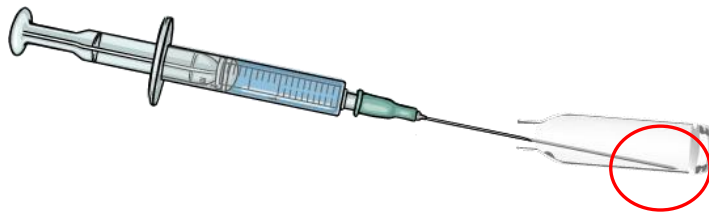
準備した溶解液0.5mlを注射薬アンプルに注ぎます。泡立たないように、ゆっくりと注入してください。

※溶けが悪いときは軽く振るか、針をくるくる回して混ぜて下さい。やり過ぎると泡立ったりこぼれたりするので、注意して下さい。

6. 溶けた注射薬を吸う

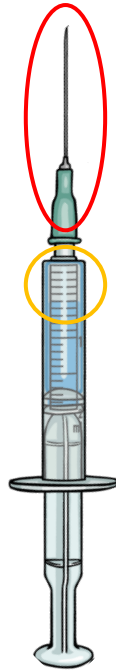


針を抜き差しせず、全部吸います



少しアンプルを傾けて、底の角に針を当てて吸うと、きれいに吸えます。

注射薬が全部吸えたら、一度空気を吸って、針の中に注射薬が残らないようにして下さい。



針の中に注射薬が残らないように

ある程度空気を吸います。

7. 針を付けかえる

調整用の太い針から、注射用の細い針に付け替えます。



(22G: 太く長い針)



(27G: 細く短い針)

8. 針から空気を抜く

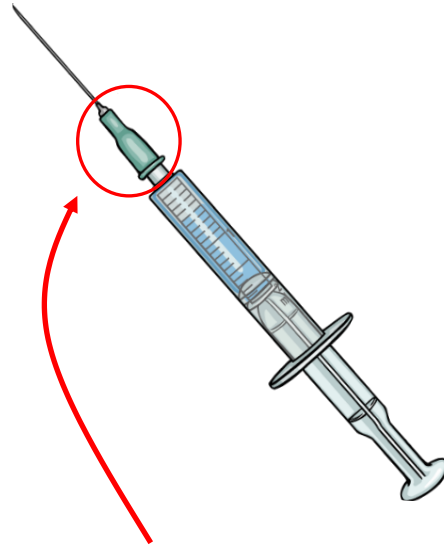


22G針の根元のプラスチック部分を
持って回し、外します。
※動画ではそのまま外していますが、
慣れないと危ないので、一度ゆっくりと
キャップを付けてから外して下さい。



外れた針は廃棄ボックスへ

注射器を軽く指で弾いて、気泡を上
に集めます。



このとき、薬液が接続部に入り込む
ことがあるので、一度空気を吸って
下に落として下さい。



注射器を押して、ゆっくりと空気を
抜きます。針の先端から液体が
一滴出ればOKです。

これでアンプル製剤は
完成です

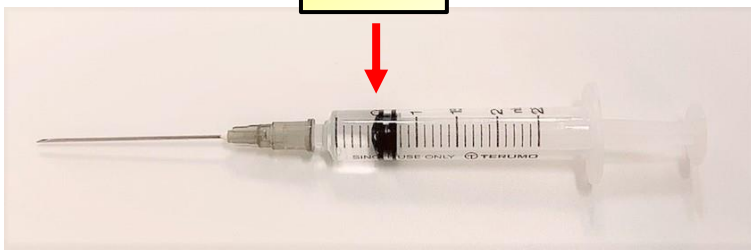


バイアル製剤の作り方

1. 溶解液の準備

アンプル製剤とまったく同じ手順で、0.5mlの溶解液を準備します。

0.5ml



※詳しくは「アンプル製剤の作り方」でご確認ください。

2. バイアルのキャップを外す

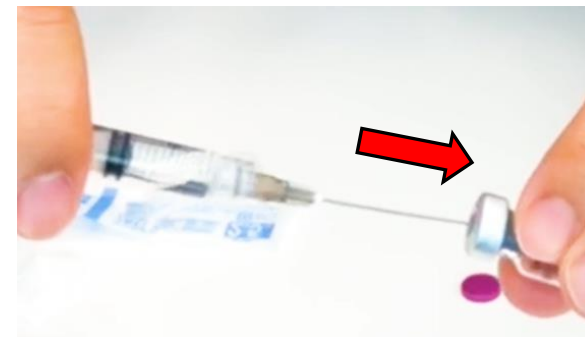


プラスチックのキャップを外すと、ゴム栓が見えます

ゴム栓は清潔に保ちたいので触らないで下さい



3. 薬を溶かす

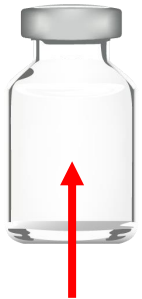


溶解液0.5mlをバイアルに注ぎます。このとき、空気を1.5mlほど一緒に入れてください。

※溶けが悪いときは軽く振るか、針をくるくる回して混ぜてください。

4. 溶けた注射薬を吸う

刺した針を抜かずに、そのまま注射薬を吸います。

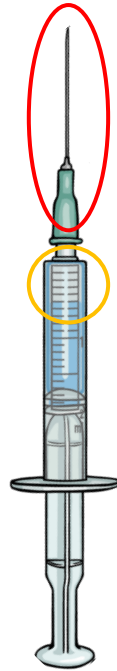


真空

※バイアル内と外気は気圧差があるため、空気を入れていないと吸いにくいです。

重くて吸いにくい時は、一旦針を抜いて空気を入れれば簡単に吸えます。

アンプルを製剤と同様、注射薬が全部吸えたら、一度空気を吸って、針の中に注射薬が残らないようにして下さい。



針の中に注射薬が残らないように

ある程度空気を吸います。

5. 針を付けかえる

アンプル製剤と同様22G針から27G針に付け替えて下さい。

6. 針から空気を抜く

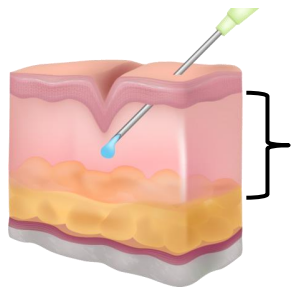
注射器を押して、ゆっくりと空気を抜きます。針の先端から液体が一滴出ればOKです。

※5と6の詳しい方法は「アンプル製剤の作り方」でご確認ください。

これでバイアル製剤は完成です

注射の打ち方

1. 穿刺部位の消毒



注射は、皮下脂肪のある皮下組織という部位に打ちます。(下腹部が一般的)



しっかり消毒し

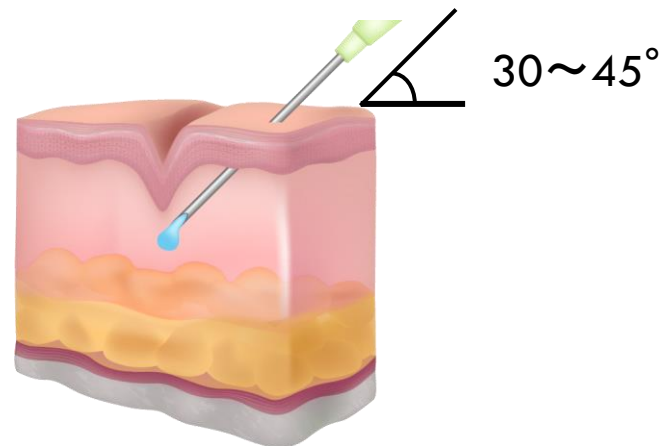
下腹部をアルコール綿でしっかり消毒して下さい。

2. 穿刺部位をつまむ



穿刺部位をぐっつとつまんで下さい。

3. 穿刺



入射角30~45° くらいで、針を最後まで刺して下さい。
躊躇せず一気に刺したほうが痛くないです。

4. 逆血(ぎゃっけつ)確認

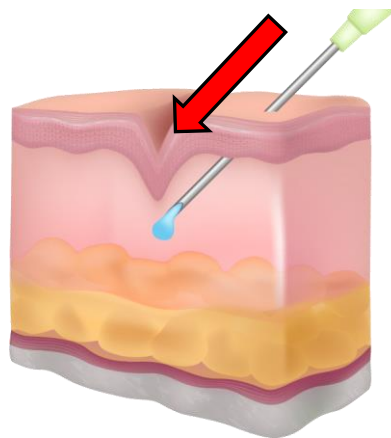


針先が血管に当たっていたら血液が逆流します。少し注射器を引いて、逆流がないことを確認してください。

※動画では片手でやっていますが、お腹をつまんでいる左手は注射器に持ち替えた方が簡単にできます。

逆血があった場合や強い痛みがある場合は、一度針を抜いて、別の部位に刺し直して下さい

5. 薬液の注入



注射器をゆっくりと押し、薬液を注入します。すべて注入したら針を抜いて下さい。

注射器はそのまま廃棄ボックスに入れて下さい。

6. 絆創膏を貼る



穿刺した部位に絆創膏を貼って終了です。揉まずに押さえて下さい。

※穿刺部位から出血した場合は、数分間押さえれば止まります。

※注射器内に血液が混ざっていることがあります。問題ありません。

これで注射は完了です

後片付け、ゴミの分別

廃棄ボックスに入れるもの



- ・注射器
- ・注射針
- ・アンプル
- ・バイアル

これらはすべて廃棄ボックスに入れてください。

※ボックスの赤い線が上限です。
ここまで入ったらクリニックへお持ち下さい。

※注射1本でも廃棄ボックスは必要です。ビニール袋などに入れて廃棄することは出来ません。

※廃棄ボックスは有料です。

ビニール袋に入れるもの

- ・包装の袋(注射器・注射針・アルコール綿)
- ・薬剤名の入った空箱

これらは手持ちのビニール袋に入れてクリニックへお持ち下さい。

家庭ゴミとして捨てて良いもの

- ・アルコール綿
- ・絆創膏

これで自己注射はすべて終了です。
お疲れ様でした。